

2022年11月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

10月の新規受注数と生産高はさらに減少

主な動向

新規受注数と生産高の減少率は9月から緩和

インフレ圧力は依然強い

企業の見通しは過去9か月間の最高値を更新

2022年10月のデータ収集期間：2022年10月12～24日。

最新のS&PグローバルPMI®データによると、日本の製造業は10月も新規受注数と生産高の減少を記録。しかし、減少率自体は9月から緩和し、雇用も継続的な上昇をみせた。需要縮小が進む中、日本の製造業は購買活動を減少し、購買品在庫の増加が緩やかになった。その一方で、インフレ圧力の高止まりにもかかわらず、企業の見通しは1月以来の最高水準を更新した。

10月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、9月の50.8から50.7に低下。製造業の業況は改善を示すも、過去21か月間で最も低い水準だった。

10月のPMI値は業況全体としてみると成長傾向となったが、日本の製造業の生産高は実際にはさらに縮小が進んだ。生産高の減少は4か月連続に及び、需要の低迷によるものと報告が寄せられた。

生産高の動向に伴い、10月は新規受注数も4か月連続の減少を記録した。企業の実態を見る限り、市場の冷え込みと需要の低迷が主な要因として減少に拍車をかけていた。また、調査回答企業からは特に自動車産業や半導体産業での停滞を指摘する声が寄せられた。

新規輸出受注が8か月連続で減少したことも示す通り、需要は世界的に低迷している。日本主要輸出市場の一部で業況が停滞しているため、新規輸出受注の減少に拍車をかけた。こうした状況にもかかわらず、日本の製造業の雇用者数は10月増加傾向で推移。しかし、増加率は9月よりも緩やかだった。

需要低迷は受注残の減少と完成品在庫の積み増しに影響し、変化なしを示した先月に続き、10月の受注残は若干の減少へ推移。その一方で、完成品在庫は5か月連続に及び増加を示した。

最新の調査データは、現状の需要傾向に鑑み企業らが支出を縮小したことを受けて、購買活動は3か月連続で減少した。しかし、一部の企業からは今後の価格高騰を予測して購買活動を増加したという報告もあり、減少率は3か月間ぶり低水準だった。同様の理由で、日本の製造業では購買品在庫も増加した。

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、Laura Denmanによる最新調査結果についてのコメント

「10月の最新調査データは、日本の製造業の勢いがさらに減速したことを指摘した。日本国内外で見られる市場の停滞と需要の低迷は、レポートでも繰り返し報告される傾向となり、製造業の鈍化を牽引している。企業の実態をみる限り、とりわけ中国や韓国の景気悪化が日本の輸出業にとってマイナスとなった。

一方で、10月のインフレ圧力は依然強い。日本の製造業は、生産コストの調査史上ほぼ記録的なインフレ率からも指摘されるとおり、販売価格をさらに大きく値上げした。日本の主要輸出市場の業況と、インフレ圧力が緩和される兆候が限定的であることから、需要は今後数か月にわたり低迷が続くとみられる。

こうした状況にもかかわらず企業らは問題に泰然した様子で、製造業は今後12か月にわたる成長見通しについて10月も楽観的な姿勢を維持。むしろ、景況感は9月から加速し、9か月ぶりの高水準を記録した。」

日本の製造業からは、サプライヤー納期の悪化により原材料の調達に苦慮している声がいまだ寄せられている。しかし、悪化率は2021年5月以来の低水準だった。

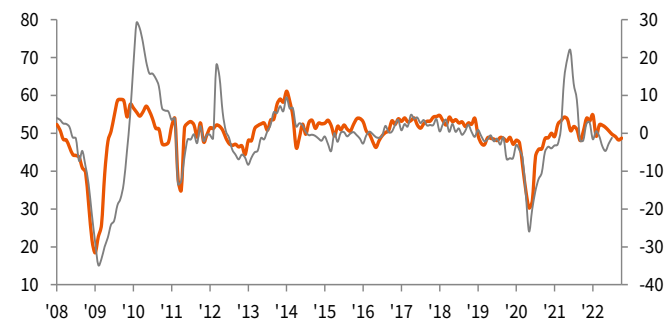
価格に関してはインフレ圧力が依然強い。多岐にわたる購買品コストが高騰する中、購買価格のインフレは9月から緩やかにになったものの過去平均値を大きく上回った。日本の製造業は、高騰するコストの一部を転嫁するため、販売価格を値上げした。販売価格のインフレ率は9月からむしろ加速し、調査史上の最高水準を更新した。現在の円安傾向も継続的なインフレ圧力に影響したと報告が寄せられた。

こうした状況にもかかわらず、日本の製造業は10月、楽観的な景況感を維持。需要の増加や供給網圧力の改善、新型コロナによる影響からの継続的な回復への期待が寄せられ、企業の見通しは過去9か月間の最高水準を更新した。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行、S&Pグローバル、経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Laura Denman

エコノミスト

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +44-134-432-7221

laura.denman@spglobal.com

SungHa Park

コーポレートコミュニケーションズ

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス

電話: +82 2 6001 3128

sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者へ毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年10月のデータ収集期間: 2022年10月12~24日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱漏、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでもなく、またこれにもとづきとらたけたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedの使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱漏(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っています。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。